



# 第56期 決算データ分析資料

## 平成30年(2018)12月期

10月1日 プラネット埼玉稼働 (埼玉県幸手市)



### トラスコ中山株式会社

平成31年(2019)2月7日発表

執行役員

経営企画部長 兼 経理部長 今川 裕章

経営企画・広報IR課長 片桐 武志

経営企画・広報IR課 吉見 今日子

〒105-0004

東京都港区新橋四丁目28番1号

トラスコ フィオリートビル10F

TEL: 03-3433-9840 FAX: 03-3433-9881

E-mail: info@trusco.co.jp

# 一 資料目次 一

## 第56期 平成30年(2018)12月期

### ■トラスコ中山について

P3 会社概要

### A■全社経営実績

P4 ①経営成績

P5 ②平成30年(2018)12月期 全社月次売上高推移  
／1日当たり売上高

### B■販売実績

P6 ①販売ルート別月次推移表

P7 ②販売ルート別売上高

P8 ③ファクトリールート ブロック別売上高・構成比・  
業種別売上高

P9 ④eビジネスルート売上高推移・オレンジコマース  
連携数推移

P10 ⑤ホームセンタールート得意先上位10社取引高

P11 ⑥商品分類別 売上実績

P12 ⑦プライベート・ブランド(PB)商品の売上実績

### C■取組み状況

P13 ①新規掲載商品売上高及び仕入先数推移／  
在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数の推移

P14 ②システム稼働状況

### D■財務等実績

P15 ①財務諸表

P16 ②販売費・一般管理費

P17 ③設備投資等の状況

P18 ④2019年度継続中の主な設備投資

### E■今期以降の計画

P19 ①経営計画(非連結)

P20 ②経営計画(連結)

### ■参考資料■

P21 ①株式情報

P22 ②業界での指数比較

P23 ③平成30年(2018)12月期 四半期毎の実績

P24 ④2019年12月期 四半期毎の予想

P25 ⑤会社データ

P26 ⑥ユーザー別販売ルート

P27 ⑦当社売上高指数・鋳工業生産指数

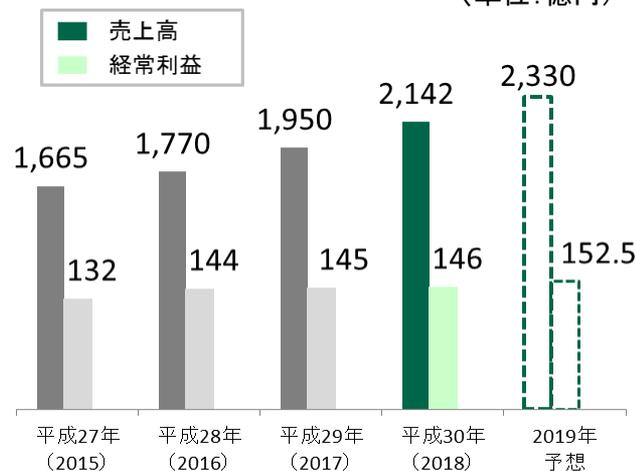
P28 ⑧第56期第4四半期トピックス

# ◇会社概要◇

創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
事業所数	国内99か所:本社2か所、支店75か所、 物流センター17か所、ストックセンター5か所 海外3か所:現地法人:タイ、インドネシア/ 駐在所:ドイツ
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部(証券コード:9830)
従業員数	2,719名(社員1,608名、パート1,111名)
格付状況	A(株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール (工場用副資材)の卸売業及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

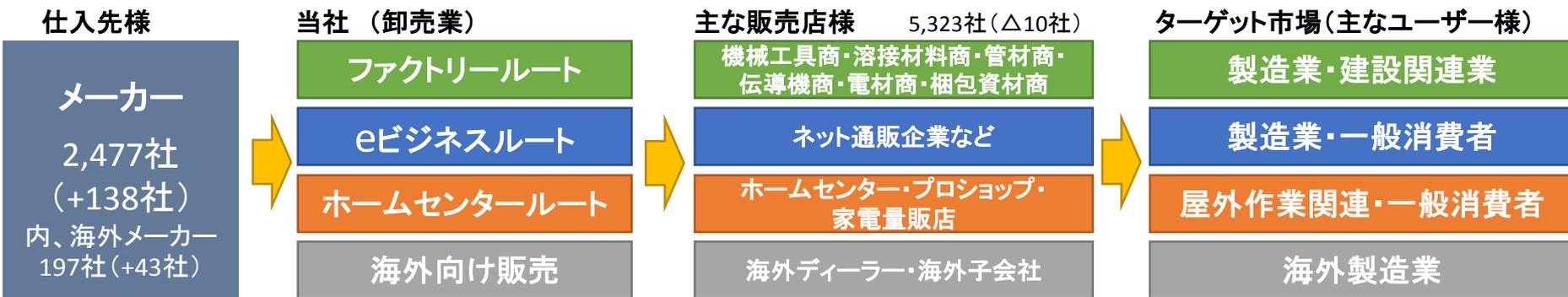
## ▶売上高・経常利益 12か月換算実績

(単位:億円)



## ▶ビジネスフロー

平成30年(2018)12月末現在



# A-① 経営成績

	平成29年(2017) 12月期	構成比	平成30年(2018) 12月期	構成比	前年比	予算 (百万円) 【構成比】	予算対比	
							増減額 (百万円)	予算比
売上高	1,950億96百万円	—	<b>2,142億97</b> 百万円	—	+9.8%	213,000	+1,297	+0.6%
売上 総利益	413億90百万円	21.2%	454億91百万円	21.2%	+9.9%	45,000 【21.1%】	+491	+1.1%
販売費及び 一般管理費	271億14百万円	13.9%	311億27百万円	14.5%	+14.8%	31,400 【14.7%】	△272 販管費内訳はP14	△0.9%
営業利益	142億76百万円	7.3%	143億64百万円	6.7%	+0.6%	13,600 【6.4%】	+764	+5.6%
経常利益	145億81百万円	7.5%	<b>146億42</b> 百万円	6.8%	+0.4%	13,850 【6.5%】	+792	+5.7%
当期 純利益	101億73百万円	5.2%	<b>97億22</b> 百万円	4.5%	△4.4%	9,300 【4.4%】	+422	+4.5%
PB売上高	401億44百万円	20.6%	435億96百万円	20.3%	+8.6%	43,000 【20.2%】	+596 PB商品詳細はP10	+1.4%
1株当たり 当期純利益	154円28銭	—	147円44銭	—	△6円 84銭	141円 03銭	+6円 41銭	—
1株当たり 年間配当金	39円	—	<b>37円</b>	—	△2円	35円 50銭	+1円 50銭	—

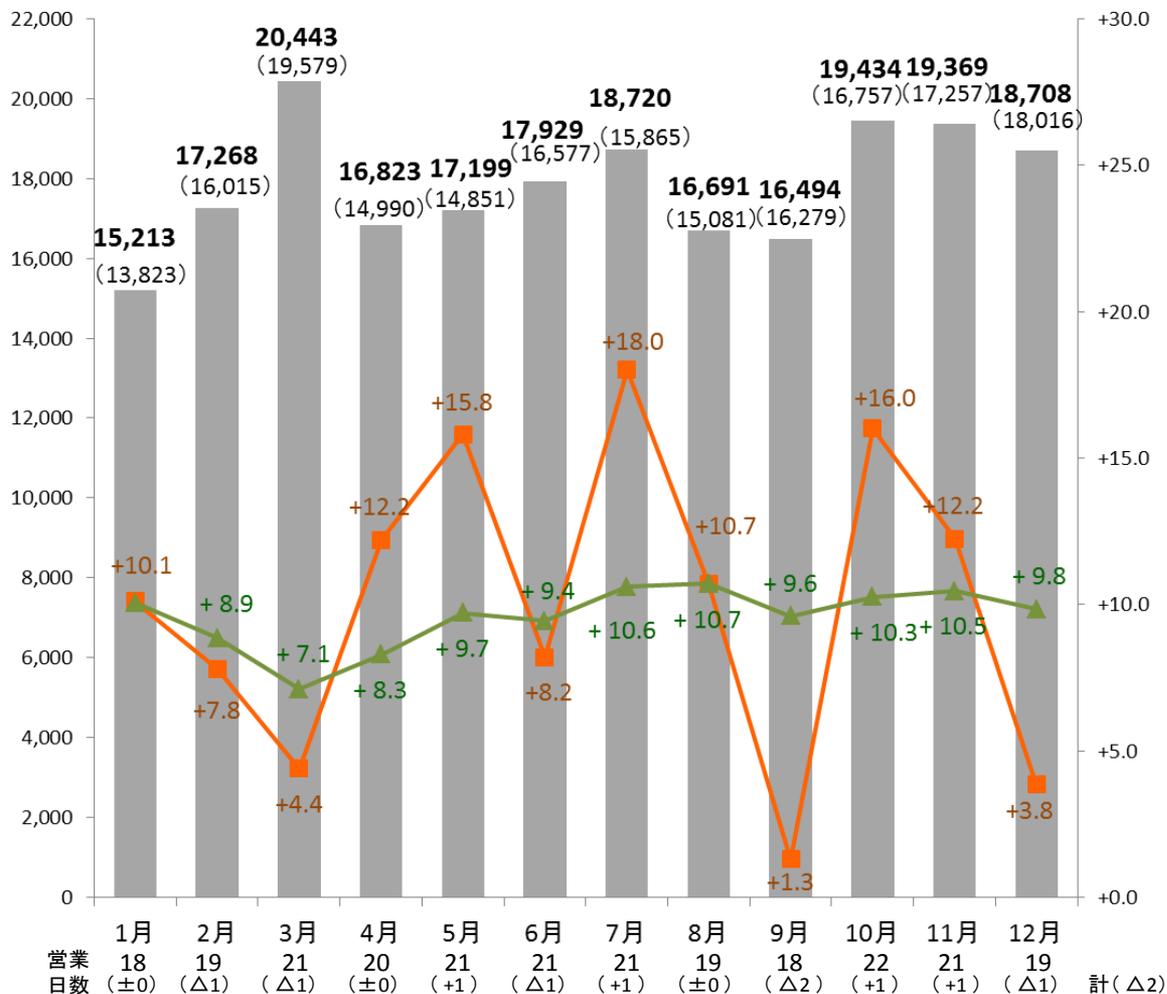
※特別損失 ①建替え中の「プラネット南関東」撤去費用を固定資産除却損として計上。(2億7百万円)  
②ストックセンターへの建替え進行中の「旧豊橋支店」建物の減損損失を計上。(86百万円)

# A-② 平成30年(2018)12月期 全社月次売上高推移／1日当たり売上高

## ■全社合計

- 単月売上高(百万円)
- 前年同月比(%)
- ▲ 累計前期比(%)

( ) 前年同月売上高

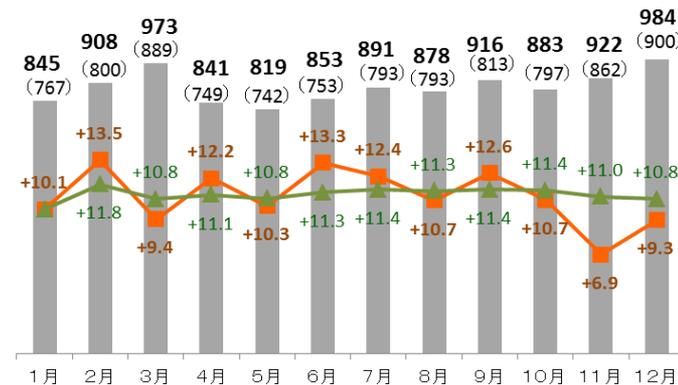


## ■全社1日当たり平均売上高推移

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社の売上高は営業日数の増減により影響を受けます。

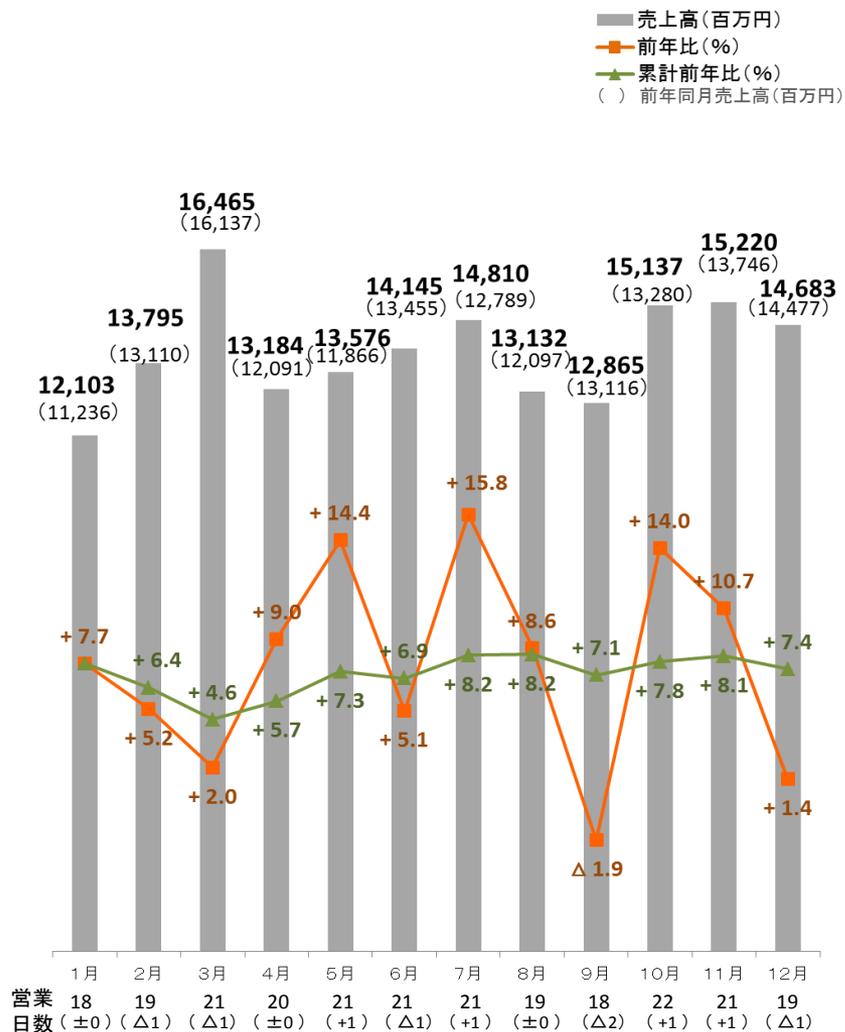
また、企業の決算月である3月・12月は売上高が大きい繁忙期となっています。

- 営業日1日当たり平均売上高(百万円)
- 前年比(%)
- ▲ 累計前年比(%)
- ( ) 前年同月1日当たり売上高(百万円)

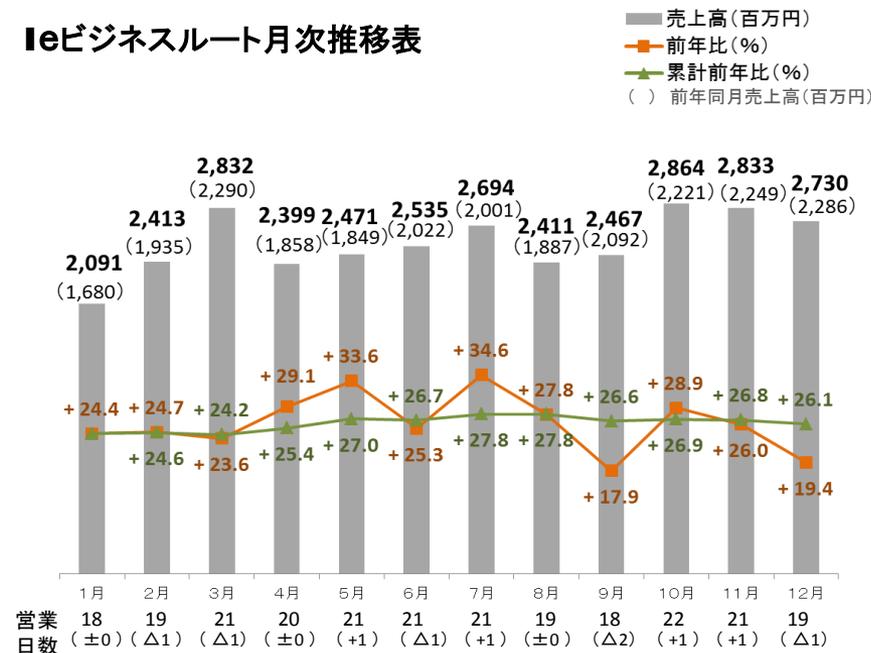


# B-① 販売ルート別月次推移表

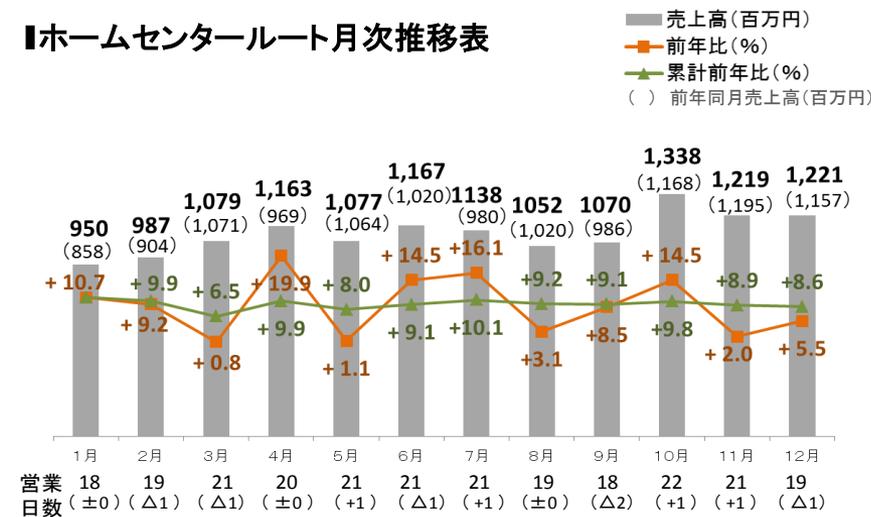
## ■ファクトリールート月次推移表



## ■eビジネスルート月次推移表



## ■ホームセンタールート月次推移表



## B-② 販売ルート別売上高

### ■販売ルート別売上高

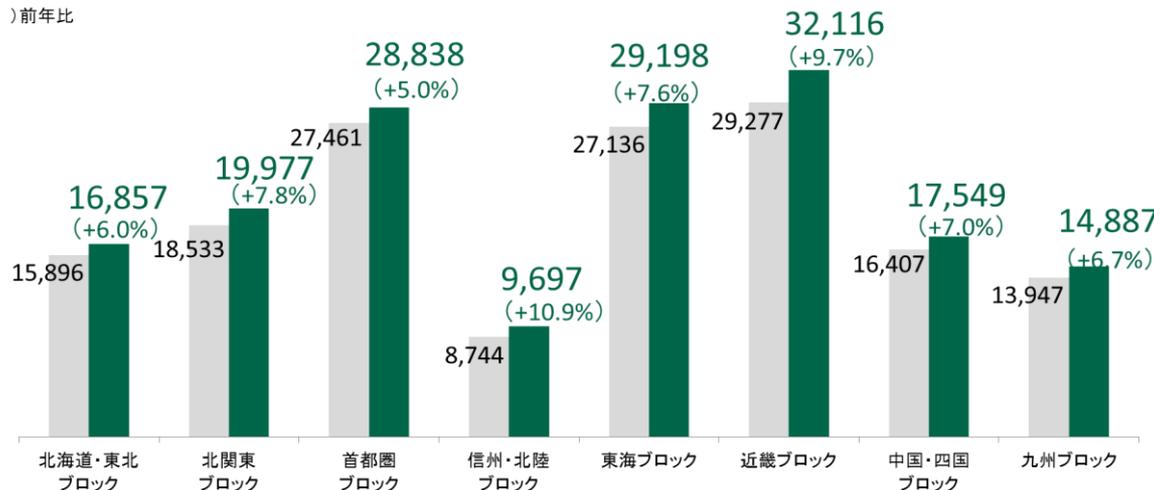
販売ルート	平成29年(2017)12月期		平成30年(2018)12月期				売上高(百万円)	
	売上高	売上総利益率	売上高		売上総利益率			
	実績	実績	実績	前年比	実績	前年比	予算	予算比
ファクトリールート	1,574億05百万円	20.9%	<b>1,691億22百万円</b>	+7.4%	20.8%	△ 0.1	169,000	+0.1%
eビジネスルート	243億77百万円	25.3%	<b>307億45百万円</b>	+26.1%	25.2%	△ 0.1	30,300	+1.5%
ホームセンター ルート	123億98百万円	17.5%	<b>134億66百万円</b>	+8.6%	17.9%	+ 0.4	12,600	+6.9%
その他(海外など)	9億15百万円	19.4%	<b>9億63百万円</b>	+5.3%	20.2%	+ 0.8	1,100	△12.4%
全社合計	1,950億96百万円	21.2%	<b>2,142億97百万円</b>	+9.8%	21.2%	+ 0.0	213,000	+0.6%

# B-③ ファクトリールート ブロック別売上高・構成比・業種別売上高

## ■ファクトリールートブロック別売上高

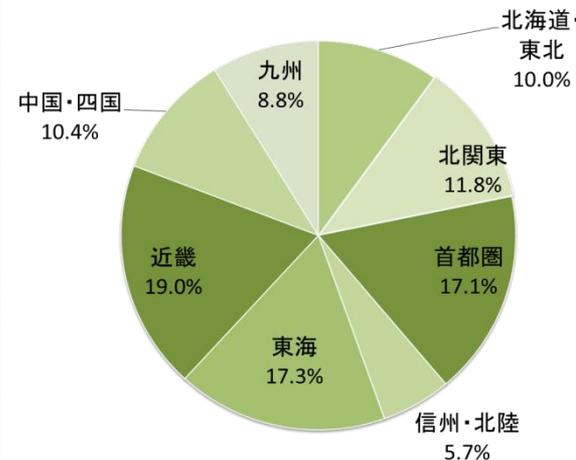
■ H29 (2017) Fルート売上高(百万円)  
■ H30 (2018) Fルート売上高(百万円)

( )前年比



【宇都宮支店:前年比△1.4%】  
自動車関連の設備投資減少による影響  
【岡崎支店:前年比+12.3%】  
自動車関連企業の製造ラインが好調  
【竜王支店:前年比+15.7%】  
設備投資関連需要の増加

## ■ファクトリールートブロック別売上高構成比



## ■ファクトリールート業種別売上高

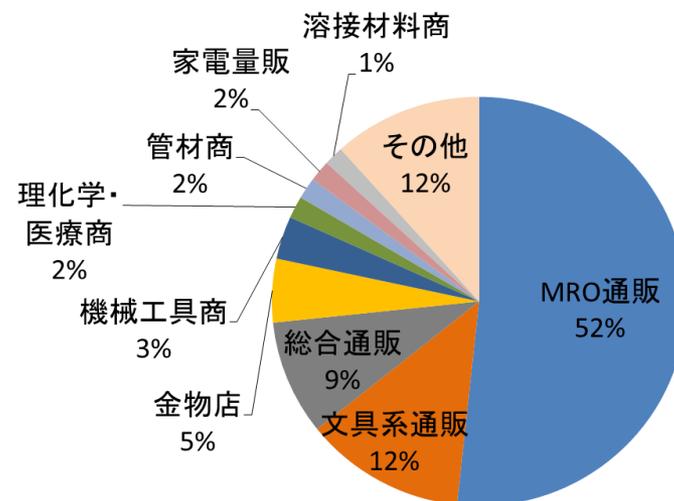
販売ルート	平成29年(2017)12月期		平成30年(2018)12月期				売上高(百万円)	
	売上高	売上総利益率	売上高		売上総利益率		売上高	売上高
	実績	実績	実績	前年比	実績	前年比	予算	予算比
機械工具商	833億52百万円	20.8%	896億78百万円	+7.6%	20.6%	△ 0.2	89,441	+0.3%
溶接材料商	226億32百万円	21.2%	243億43百万円	+7.6%	21.2%	△ 0.0	24,300	+0.2%
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	253億48百万円	20.2%	270億11百万円	+6.6%	20.4%	+ 0.2	27,215	△0.7%
建設関連	260億71百万円	21.4%	280億88百万円	+7.7%	21.4%	+ 0.0	27,992	+0.3%
ファクトリールート合計	1,574億05百万円	20.9%	1,691億22百万円	+7.4%	20.8%	△ 0.1	169,000	+0.1%

# B-④ eビジネスルート売上高推移・オレンジコマース連携数推移

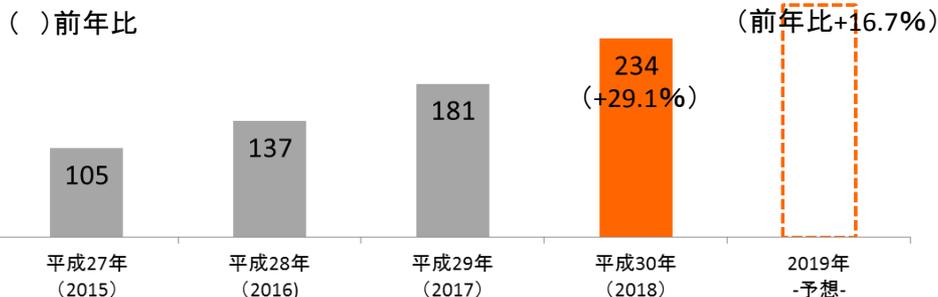
## ■eビジネスルート売上高

販売ルート	平成30年(2018)12月期			
	売上高		売上総利益率	
	実績	前年比	実績	前年比
通販企業向け	234億69百万円	+29.1%	24.4%	+0.0
オレンジコマース 連携企業向け(電子購買)	72億75百万円	+17.5%	27.6%	△0.4
eビジネスルート合計	307億45百万円	+26.1%	25.2%	△0.1

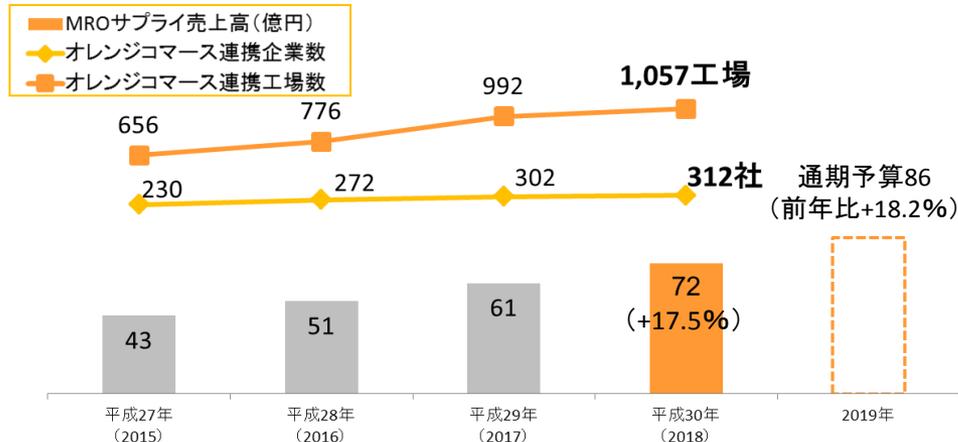
## ■ 通販企業向け売上高 業種別売上高比率



## ■ 通販企業向け売上高 (億円)

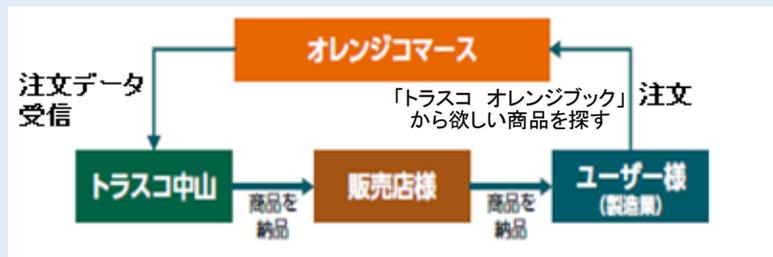


## ■ オレンジコマース(電子購買)連携数推移



## ※電子購買とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット(システム)を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。



ユーザー様の購買システムとトラスコ中山のシステムを連携し物流は販売店様との三者間で行います。

## B-⑤ ホームセンタールート得意先上位10社 取引高

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。今後は、プロショップ・資材館のあるホームセンターを強化し、当社総合力をもって商品販売を行っていきます。

### ■ホームセンター得意先別売上高

単位:百万円、%

順位	得意先名	平成29年 (2017)12月期	平成30年 (2018)12月期	前年比
1	(株)ナフコ	1,477	1,595	+ 8.0
2	DCM ホダカ(株)(プロショップ) ※	1,169	1,431	+ 22.4
3	DCMホームマック(株) ※	1,414	1,381	△ 2.4
4	ロイヤルHC(株)	1,319	1,294	△ 1.8
5	DCMカーマ(株) ※	1,277	1,156	△ 9.4
6	コーナン商事(株)	982	1,144	+ 16.5
7	(株)島忠	678	736	+ 8.6
8	DCMダイキ(株) ※	644	692	+ 7.4
9	(株)ケーヨー ※	294	664	+ 125.8
10	(株)コメリ	441	560	+ 27.0
10社合計		9,699	10,658	+ 9.9
HCルート売上合計		12,398	13,466	+ 8.6
10社のルート売上占有率		78.2	79.1	

各企業名の敬称を省略しております。

平成19年(2007)より実施している  
お取引正常化について

- ①採算割れ取引の中止
- ②新規開店、周年セール等、限度を超えた特別協賛の中止
- ③当社が販売していない商品に対する人的応援のお断り

以上により、第43期 平成18年(2006)売上高 219億円が約100億円に落ち込みましたが、当社は売上が落ちてもしっかりルールに基づいた取引を行っています。

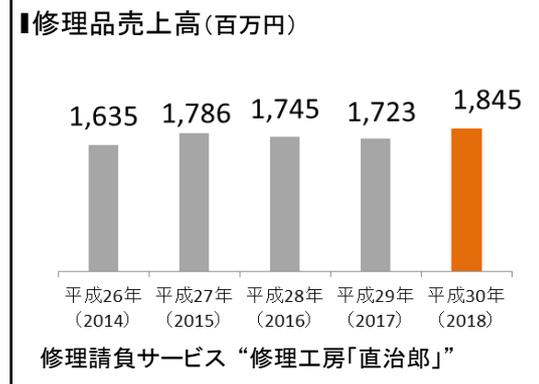
※DCM ホールディングス

合計:5,326百万円(前年比+11.0%)

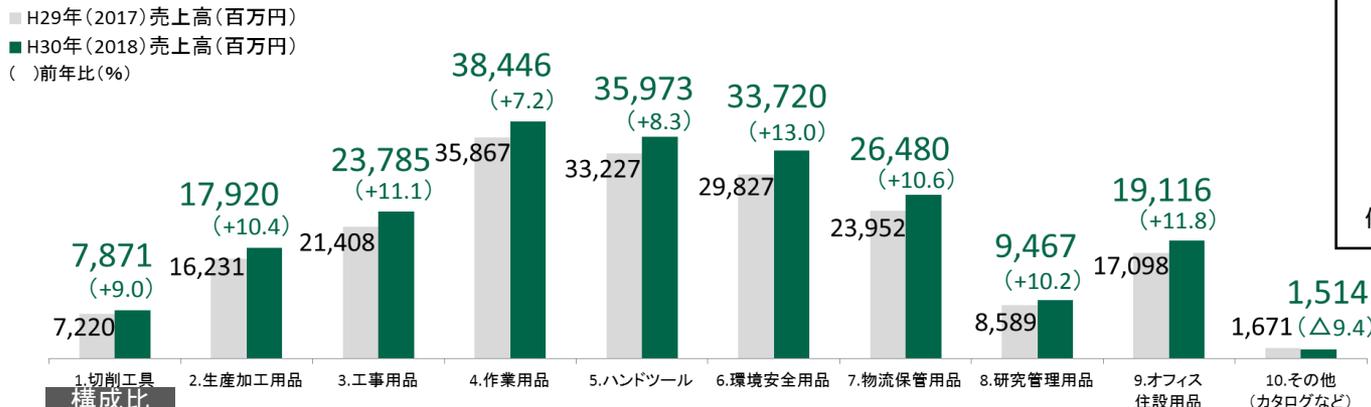
【DCMホームマック(株)、DCMカーマ(株)、ホダカ(株)、DCMダイキ(株)、DCMくろがねや(株)、(株)ホームマックニコット、(株)ケーヨー、DCMサンワ(株)】

広報IR課にて作成した参考値です。

# B-⑥ 商品分類別 売上実績



## ■大分類別売上高グラフと中分類内訳



商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年比	粗利率				
1.切削工具 3.7	切削工具	3,840	1.8	+9.3	10.6	6.環境安全用品 15.7	保護具	16,356	7.6	+12.9	25.2				
	穴あけ・ネジきり工具	4,031	1.9	+8.7	23.4		安全用品	8,901	4.2	+11.7	26.1				
2.生産加工用品 8.4	測定計測	8,774	4.1	+9.6	16.9		環境改善用品	2,040	1.0	+17.9	20.4				
	メカトロニクス	3,614	1.7	+10.4	15.8		冷暖房用品	3,759	1.8	+17.5	17.6				
	工作機工具	2,596	1.2	+12.7	21.2		防災・防犯用品	876	0.4	+12.6	20.9				
	電動機械	2,935	1.4	+10.9	10.5		物置・エクステリア用品	1,786	0.8	+7.4	15.1				
3.工事用品 11.1	油圧工具	1,905	0.9	+9.5	11.7		7.物流保管用品 12.4	荷役用品	7,028	3.3	+13.4	17.5			
	ポンプ	3,505	1.6	+11.4	15.8	コンベヤ		1,367	0.6	+12.4	15.7				
	溶接用品	1,986	0.9	+6.9	18.7	運搬用品		10,375	4.8	+10.2	22.4				
	塗装・内装用品	2,154	1.0	+4.6	24.7	コンテナ・容器		3,772	1.8	+8.8	30.6				
	土木建築	1,803	0.8	+27.5	13.4	スチール棚		3,938	1.8	+7.8	26.6				
	はしご・脚立	3,083	1.4	+12.1	22.7	8.研究管理用品 4.4	ツールワゴン	1,140	0.5	+8.3	29.0				
	配管・電設資材	3,198	1.5	+11.9	23.6		保管・管理用品	1,351	0.6	+8.0	31.6				
部品・金物・建築資材	6,147	2.9	+10.2	28.5	作業台		1,539	0.7	+11.4	26.7					
4.作業用品 17.9	切断用品	1,280	0.6	+6.5	23.0	ステンレス用品	1,939	0.9	+8.4	17.8					
	研削・研磨用品	7,174	3.3	+7.3	24.0	研究開発関連用品	3,496	1.6	+12.3	17.8					
	化学製品	18,402	8.6	+6.9	23.0	9.オフィス住設用品 8.9	清掃用品	5,765	2.7	+13.7	21.6				
	工場雑貨	3,534	1.6	+6.9	15.9		文具用品	1,651	0.8	+17.3	19.3				
	梱包結束用品	5,092	2.4	+11.2	30.4		オフィス雑貨	2,318	1.1	+12.2	28.4				
キャスター	2,962	1.4	+3.1	18.3	電化製品		3,558	1.7	+8.4	23.6					
電動工具・用品	9,923	4.6	+9.1	15.3	OA事務用機器		1,525	0.7	+18.0	26.8					
5.ハンドツール 16.8	空圧工具用品	6,655	3.1	+7.5	18.7	事務用家具	4,022	1.9	+8.3	24.9					
	手作業工具	17,673	8.2	+7.9	22.0	インテリア用品	273	0.1	+2.2	20.5					
	工具箱	1,721	0.8	+10.5	31.1	10.その他 0.7	全体	1,514	0.7	△9.4	-				
合計						合計						214,297	100.0	+9.8	21.2

(単位:百万円、%)

- ・工事用品のうち土木建築関係では、災害による発電機等の需要が増加しました。
- ・環境安全用品のうち冷暖房用品ではファクトリールート、eビジネスルートにおいて、第1四半期で販売が好調であったストーブなど冬の季節商品に加え、猛暑によりスポットエアコン、工場扇など夏季の季節商品需要が増加しました。また、環境改善用品においても送風機やファンなどの需要が増加しました。

# B-⑦ プライベート・ブランド(PB)商品の売上実績

## ■PB分類別売上高の主な内訳

※その他ルートは除く

単位：百万円

	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	粗利率	構成比	粗利率	構成比	粗利率	構成比	粗利率
	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比
合計	43,596	+8.6%	34,191	+4.8%	8,147	+27.7%	928	+5.4%
切削工具	689	+9.8%	514	+7.8%	101	+27.2%	62	△1.2%
生産加工用品	1,515	+7.0%	1,169	+3.5%	299	+24.4%	21	+6.4%
工事用品	3,531	+6.8%	2,726	+3.5%	714	+19.7%	62	+6.0%
作業用品	7,661	+7.3%	6,327	+4.7%	1,205	+23.9%	77	+8.2%
ハンドツール	4,575	+6.7%	3,475	+2.5%	896	+25.6%	138	+0.3%
環境安全用品	7,069	+12.9%	5,699	+10.3%	1,249	+27.5%	102	+10.7%
物流保管用品	10,861	+8.3%	8,287	+3.9%	2,070	+31.1%	441	+4.6%
研究管理用品	3,652	+7.7%	2,954	+2.7%	666	+38.6%	3	+19.7%
オフィス住設用品	4,034	+9.8%	3,036	+4.0%	943	+28.3%	15	+81.1%
その他	3	+5.0%	0	-	0	-	3	+5.0%

## ■プライベート・ブランド(PB)商品

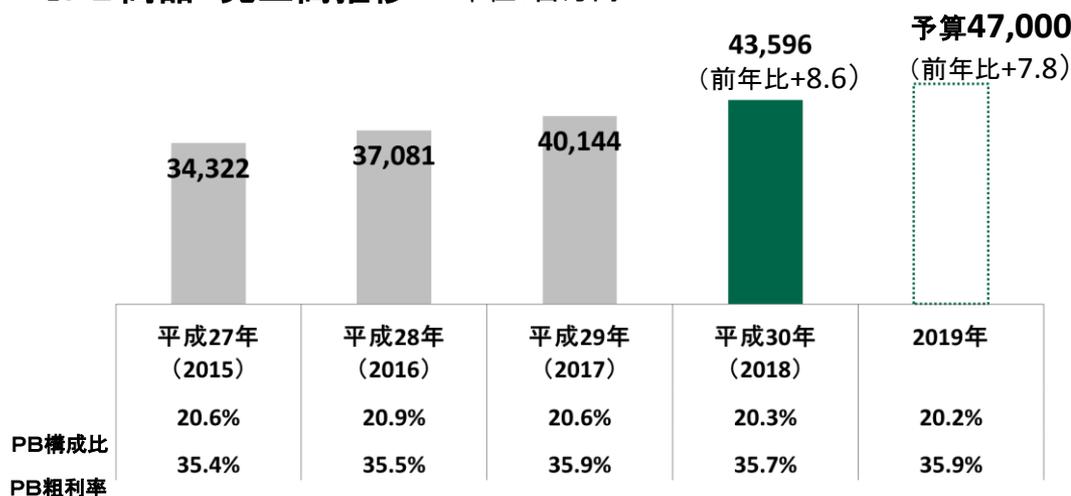


年間約5,000アイテムの新規商品を投入している自社企画開発商品。ナショナル・ブランド商品に比べ利益率が高く、売上高構成比は20.3%を占めています。

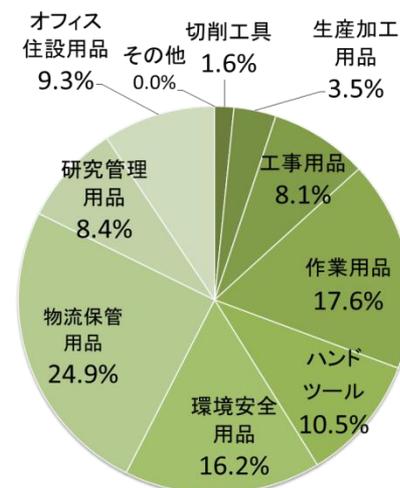


## ■PB商品 売上高推移

単位：百万円



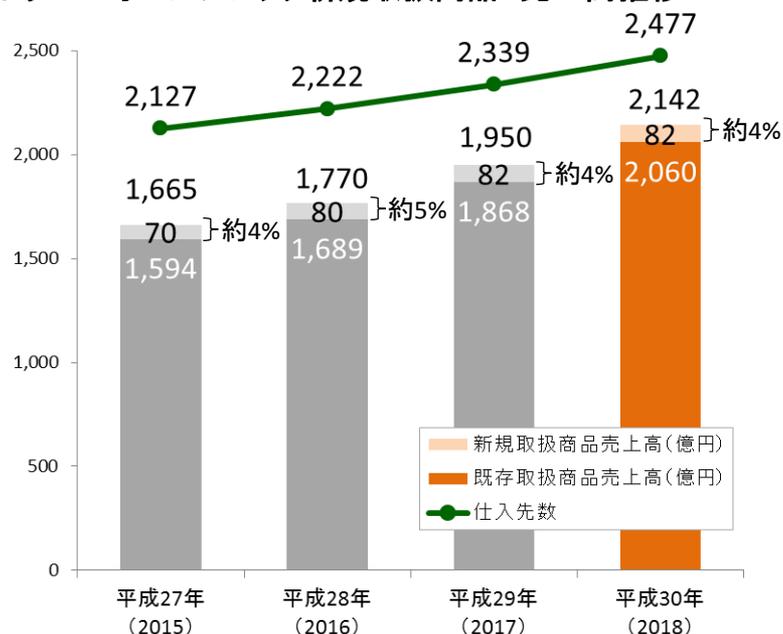
## ■PB売上構成比



# C-① 新規掲載商品売上高及び仕入先数推移／在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数の推移

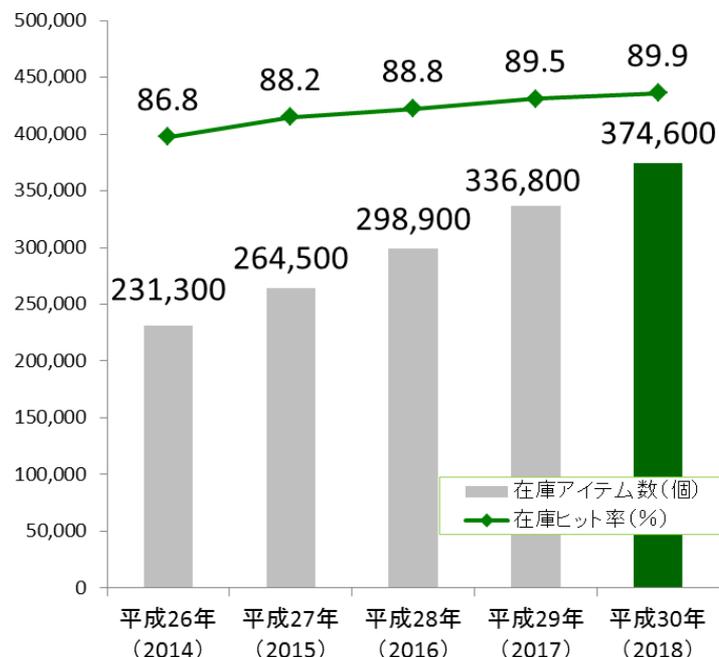
## 1、全社売上高における

### トラスコ オレンジブック新規取扱商品 売上高推移

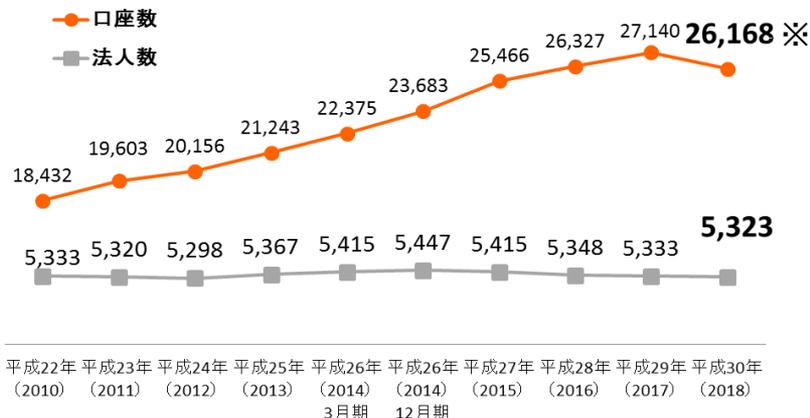


※新規取扱商品の実績の抽出方法を変更したため、5月8日に発表した第1四半期決算データ分析資料とは多少の差異がございます

## 2、在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移



## 3、販売口座数の推移



1、売上高のうち4%程度は、その年に商品カタログ「トラスコ オレンジブック」へ新規掲載された商品の売上高で構成されています。

2、在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数  
当初の目標であった90%をほぼ達成しました。

3、取引法人数は減少傾向にあります。売上増加のポイントである口座数は順調に増え続けています。抹消法人数は年間100社程度です。

※平成30年(2018)の口座数減少は、ホームセンタールート取引先の取引終了による口座抹消が主な要因です。

## C-② システム稼働状況

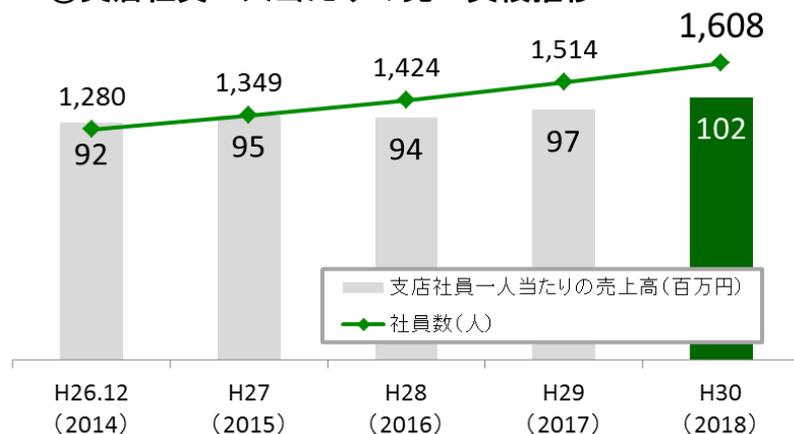
### ■①システム受注(FAX-OCR含む)実績

【ご参考】 12月末累計 照会行数:ドットクル約640件/日、WEBアクセス数約60,600件/日

受注実績	受注行数 (行)	行数占有率	占有率 前年比	受注金額 (百万円)	金額占有率	占有率 前年比
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	14,242,495	43.4%	+3.2	89,656	41.8%	+5.0
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	5,136,314	15.6%	+22.2	20,669	9.6%	+25.4
DOTKUL (ドットクル) FAX-OCR	453,353	1.4%	※ △23.9	2,120	1.0%	※ △24.4
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	525,283	1.6%	※ +3.1	2,998	1.4%	※ +3.3
EOS ホームセンター電子発注システム	6,464,294	19.7%	+12.0	12,022	5.6%	+8.5
計	26,821,739	<b>81.7%</b>	+7.8	127,466	59.5%	+7.4

※トラスコEDIへの移管が要因です。

### ■②支店社員一人当たりの売上実績推移



※実績数値は、販管費(物流・本社部署人件費など)を加味した、支店社員一人当たりの売上高

#### システム受注化に伴う、業務効率の改善

- ① 全社システム受注率81.7%  
全ルートを受注行数のうち80%以上のご注文がシステムからの自動受注による売上高。
- ② 支店社員一人あたりの売上高約102百万円

# D-① 財務諸表

## ■セグメント情報等

単位:百万円、%、( ) 前年比

		平成30年(2018)12月期	
		売上高	経常利益又は損失(△)
報告 セグメント	ファクトリー ルート	169,122 (+7.4)	11,560 (△1.5)
	eビジネス ルート	30,745 (+26.1)	2,948 (+15.4)
	ホームセンター ルート	13,466 (+8.6)	△19 (前年実績55百万円)
	計	213,333 (+9.9)	14,489 (+1.0)
その他(海外販売課)		963 (+5.3)	△81 (前年実績△28百万円)
合計		214,297 (+9.8)	14,408 (+0.6)
調整額		-	234
財務諸表計上額		214,297 (+9.8)	14,642 (+0.4)

- 「その他」セグメントには、報告セグメントに含まれない海外販売等の事業セグメントを含んでいます。
- 経常利益の調整額234百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

※調整額…賃貸物件の賃貸収入等

※平成30年(2018)7月に150億円の銀行借入れを行いました。  
借入金は物流投資・IT投資に充当いたします。

## ■貸借対照表

平成30年(2018)12月31日現在  
単位:百万円、%、( ) 前年比

資産	負債・資本
流動資産 78,834 (+13.0)	流動負債 22,311 (+4.1)
	固定負債 27,257 (+122.5)
固定資産 91,382 (+17.8)	純資産 120,648 (+6.1)
内、有形固定資産 78,715 (+16.0)	
総資産 170,216 (+15.5)	

## ■キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	平成30年(2018)12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,928
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,144
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,492
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4
現金及び現金同等物の増減額	1,273
現金及び現金同等物の期首残高	10,412
現金及び現金同等物の期末残高	11,685

※

## D-② 販売費・一般管理費

### ■販売費及び一般管理費の主な内訳

単位：百万円、%

	平成29年(2017) 12月期	平成30年(2018) 12月期	増減額	前年比
1 運賃及び荷造費	4,687	5,584	897	+19.1
2 広告宣伝費	350	646	295	+84.3
3 販売促進費	3	121	118	+3295.1
4 車両費	203	233	29	+14.7
5 役員報酬	371	367	△4	△ 1.1
6 給与及び賞与	11,418	12,284	865	+7.6
7 賞与引当金繰入額	399	62	△337	△ 84.5
8 福利厚生費	2,043	2,222	178	+8.8
9 交際費	81	133	51	+63.4
10 旅費及び交通費	547	574	26	+4.8
11 通信費	310	341	30	+9.9
12 支払手数料	1,315	1,607	291	+22.1
13 消耗品費	526	738	212	+40.3
14 水道光熱費	272	321	48	+17.9
15 租税公課	936	1,206	269	+28.8
16 減価償却費	2,749	3,614	865	+31.5
17 借地借家料	501	644	143	+28.5
18 その他	393	422	29	+7.5
計	27,114	31,127	4,013	+14.8

### ～主な項目について～

- ・売上拡大による路線便の出荷量増加（約+16%）の影響（約+353百万円）
- ・路線便の運賃値上（約+16%）による影響（約+408百万円）
- ・備車料（契約配達便）の値上げ、売上増加に伴うスポット的な増便、便の大型化の影響など（約+61百万円）

2017年10月放映開始のTV東京「TRUSCO知られざるガリバー」番組提供による増加など

- ・トラスコ デジタルオレンジブック英語版費用（112百万円）、トラスコオレンジブック社内使用分費用の増加（+43百万円）

- ・社員+89名（主な内訳：キャリア社員+49名、ロジス社員+38名）（441百万円）
- ・パートタイマー+62名（275百万円）（内、プラネット埼玉向けが43名）
- ・残業代の増加（+48百万円）

・支給条件未達による業績連動型賞与の費用減少

- ・商品検索サイト「トラスコ オレンジブック.Com」、商品データベース「ステラ」、ネット通販企業様とのデータ連携、物流機器導入などシステム等の保守点検費増加（+267百万円）

・プラネット埼玉用備品（202百万円）

・プラネット埼玉見積不動産取得税（186百万円）

- ・プラネット埼玉建物、電気照明設備、物流機器など（526百万円）
- ・商品検索サイト「トラスコオレンジブック.Com」リプレイス（124百万円）
- ・商品データベース「ステラ」（123百万円）

- ・プラネット南関東 建替えに伴う賃借倉庫費用の増加（+64百万円）
- ・外部倉庫費用の増加（+64百万円）

# D-③ 設備投資等の状況

## ■主な設備投資の実績と予定

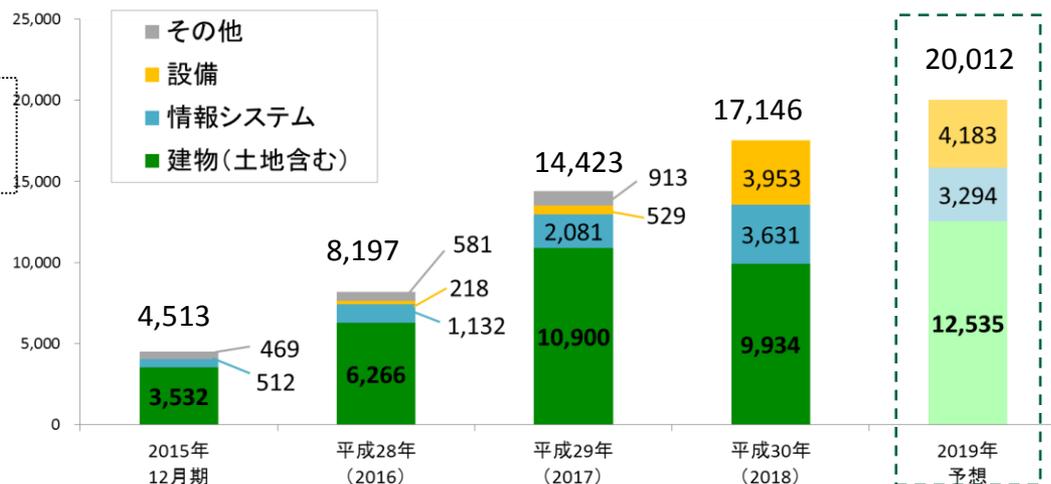
主な設備投資 内訳		総投資 予定額	前期までの 支払済費用	第56期 投資実績額	第57期 投資予定額
建物	プラネット埼玉 建物・設計	13,473	10,419	3,054	-
	プラネット南関東 建替	8,784	280	2,853	4,884
	プラネット東北 増築	4,050	-	854	3,196
	プラネット北関東 増築	1,178	56	328	794
設備	プラネット埼玉 (自動倉庫/SAS/GAS/パトラー/オートストア/I-Pack等)	3,241	-	2,541	700
	プラネット東北 (バケット自動倉庫/SAS/GAS/オートストア/I-Pack等)	3,022	-	-	516
	プラネット南関東(バケット自動倉庫/SAS/オートストア/ケースCV/電動パレットラック等)	2,338	-	646	1,692
	プラネット東海 (自動倉庫/SAS/GAS)	1,137	-	450	687
	プラネット東関東 (バケット自動倉庫/SAS/GAS)	899	-	500	399
	プラネット神戸 (バケット自動倉庫/SAS/GAS/電動パレットラック 等)	864	-	-	864
	プラネット北関東 (オートストア/パレット自動倉庫)	669	97	442	130
	プラネット滋賀 (バケット自動倉庫/電動パレットラック)	261	-	20	241
システム	パラダイスリプレイス (受発注システム)	3,289	-	869	1,620
	ECサイトリプレイス (トラスコ オレンジブック.Com)	1,426	-	1,426	-
	AIオレンジレスキュー (商品検索システム)	289	-	157	132
土地	西日本物流センター(大和郡山) 土地	2,853	144	-	151
	プラネット愛知(北名古屋市) 土地	1,831	-	140	296
	プラネット北海道 土地	1,110	-	1,110	-
	高松支店 土地	250	-	250	-
その他	-	-	1,506	3,710	
合計			17,146	20,012	

## ■設備投資額の推移 単位:百万円

設備投資額に関して

・設備投資予定額には、計画中的のものも含まれているため、投資金額は期中に変動する場合がございます。

※平成30年(2018)より「その他」に含めていた項目を設備・情報システム・建物に振り分けています。



## D-④ 2019年度継続中の主な設備投資

### プラネット北関東 増築



完成予想図

#### 概要

- 住所: 群馬県伊勢崎市
- 増築後社屋全体:  
敷地面積10,000坪  
延床面積7,695.5坪  
増築棟 6階建
- 投資予定総額: 19億円  
(建物・設備)
- 在庫予定アイテム数: 50万アイテム
- 完成予定: 2019年7月
- 導入予定設備:  
パレット自動倉庫

### プラネット東北 増築



完成予想図

#### 概要

- 住所: 宮城県仙台市
- 増築後社屋全体:  
敷地面積3,905坪  
延床面積8,587坪  
増築棟 6階建
- 投資予定総額: 70億円  
(建物・設備)
- 在庫予定アイテム数: 50万アイテム
- 完成予定: 2019年11月
- 導入予定設備:  
バケット自動倉庫／オートストア／  
バトラー／SAS／GAS／電動パレット  
トラック／I-Pack

### プラネット南関東 建替え



完成予想図

#### 概要

- 住所: 神奈川県伊勢原市
- 敷地面積: 3,662坪
- 延床面積: 7,885.3坪
- 構造: 地下1階(駐車場)、  
地上4階建、免震構造
- 投資予定総額: 111億円  
(建物・設備)
- 在庫予定アイテム数: 50万アイテム
- 完成予定: 2020年5月
- 導入予定設備:  
バケット自動倉庫／オートストア／  
SAS／GAS／電動パレットラック

## E-① 経営計画(非連結)

「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。

マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。今後も支店長予算の集計が予算となるため、毎期計画の見直しが入ります。

	第56期 2018年12月期			第57期 2019年12月期			第58期 2020年12月期		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	予算 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	見込み (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	214,297	100.0	109.8	233,000	100.0	108.7	253,000	100.0	108.6
ファクトリールート	169,122	78.9	107.4	181,000	77.7	107.0	193,000	76.3	106.6
eビジネスルート	30,745	14.3	126.1	36,000	15.5	117.1	43,000	17.0	119.4
ホームセンタールート	13,466	6.3	108.6	14,800	6.4	109.9	15,500	6.1	104.7
その他(海外)	963	0.4	105.3	1,200	0.5	124.5	1,500	0.6	125.0
売上総利益	45,491	21.2	109.9	49,300	21.2	108.4	53,500	21.1	108.5
ファクトリールート	35,152	20.8	107.0	37,460	20.7	106.6	39,800	20.6	106.2
eビジネスルート	7,738	25.2	125.3	9,000	25.0	116.3	10,700	24.9	118.9
ホームセンタールート	2,406	17.9	110.6	2,600	17.6	108.1	2,700	17.4	103.8
その他(海外)	194	20.1	109.2	240	20.0	123.7	300	20.0	125.0
販売費及び一般管理費	31,127	14.5	114.8	34,300	14.7	110.2	37,000	14.6	107.9
営業利益	14,364	6.7	100.6	15,000	6.4	104.4	16,500	6.5	110.0
経常利益	14,642	6.8	100.4	15,250	6.5	104.2	16,750	6.6	109.8
当期純利益	9,722	4.5	95.6	10,300	4.4	105.9	11,300	4.5	109.7
1株当たり当期純利益	147円44銭	-	△6円84銭	156円19銭	-	+8円75銭	171円35銭	-	+15円16銭
プライベートブランド商品売上高	43,596	20.3	108.6	47,000	20.2	107.8	51,000	20.2	108.5
ファクトリールート	34,191	20.2	104.8	36,540	20.2	106.9	38,550	20.0	105.5
eビジネスルート	8,147	26.5	127.7	9,000	25.0	110.5	10,800	25.1	120.0
ホームセンタールート	928	6.9	105.4	1,100	7.4	118.5	1,200	7.7	109.1
その他(海外)	328	34.1	122.8	360	30.0	109.8	450	30.0	125.0
PB商品粗利率	35.7	-	-	35.9	-	-	35.9	-	-
オレンジブックPB掲載アイテム数	56,500	-	112.5	58,700	-	103.9	67,500	-	115.0
商品在庫金額	37,000	-	116.2	39,000	-	105.4	42,000	-	107.7
社員数	1,608	-	105.9	1,720	-	107.0	1,820	-	105.8
パートタイマー人数	1,111	-	105.9	1,125	-	101.3	1,145	-	101.8

この中期経営計画は本資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

## E-② 経営計画(連結)

### 1. 連結決算開始について

当社は、2010年9月にタイに現地法人「トラスコナカヤマ タイランド」を、2015年1月にインドネシアに現地法人「トラスコナカヤマ インドネシア」をそれぞれ設立いたしております。

当社業績に与える影響が軽微であったことから2018年12月期までは非連結子会社としていたものの、今後、資産、損益等の重要性が増すことが予想されることから、2019年12月期よりそれぞれを連結の範囲に含め連結決算へ移行いたします。

第57期連結業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期		233,294	14,929	15,179	10,254	155円49銭

【ご参考】各社単体の通期業績予想

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
親会社	トラスコ中山(株)	233,000	15,000	15,250	10,300	156円19銭
子会社	トラスコナカヤマ タイランド	700	14	14	10	-
子会社	トラスコナカヤマ インドネシア	309	△63	△63	△63	-

※1. 子会社各社の業績予想は、現地通貨単位での予想値を直近の為替レートにより円換算しております。

※2. 連結業績予想は、親会社から子会社への商品販売を内部取引として消去する等の連結調整を行っております。

# 参考資料①—株式情報

## ■株式の情報

単位:名

	平成28年 (2016) 6月末	平成28年 (2016) 12月末	平成29年 (2017) 6月末	平成29年 (2017) 12月末	平成30年 (2018) 6月末	平成30年 (2018) 12月末
株主合計	11,092	18,462	14,497	25,365	16,719	29,997
単元株主	10,357	17,744	13,821	24,758	16,038	29,409
単元未満株主	735	718	676	607	681	588
金融機関・証券会社	71	65	73	71	66	63
国内法人	541	602	552	628	566	657
外国法人等	173	196	174	198	203	228
個人その他	10,307	17,599	13,698	24,468	15,884	29,049

## ■株式分割について

平成29年(2017)1月1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき、2株の割合をもって株式分割を実施しました。

## ■ROE推移

単位:%

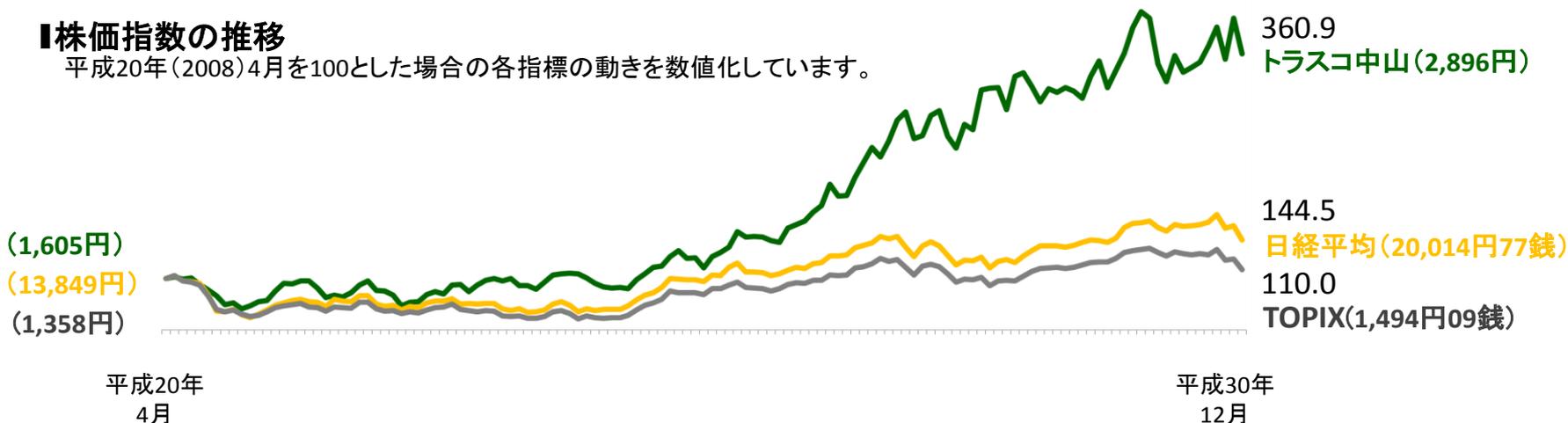
	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	2019年 予想
ROE	8.7	9.8	9.3	8.3	8.3

### <ROEに対する考え方>

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

## ■株価指数の推移

平成20年(2008)4月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



# 参考資料②－業界での指数比較

## ■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

単位:百万円、%、敬称略

卸売	平成30年(2018) -実績・予想-		
	決算月	売上高	前年比
(株)山善	3月	520,000	+ 4.4
ユアサ商事(株)	3月	480,000	+ 4.0
(株)日伝	3月	126,000	+ 5.3
フルサト工業(株)	3月	104,300	+ 5.5
(株)NaiTO	2月	49,000	+ 5.2
杉本商事(株)	3月	47,750	+ 7.8
トラスコ中山(株)	12月	214,297	+ 9.8

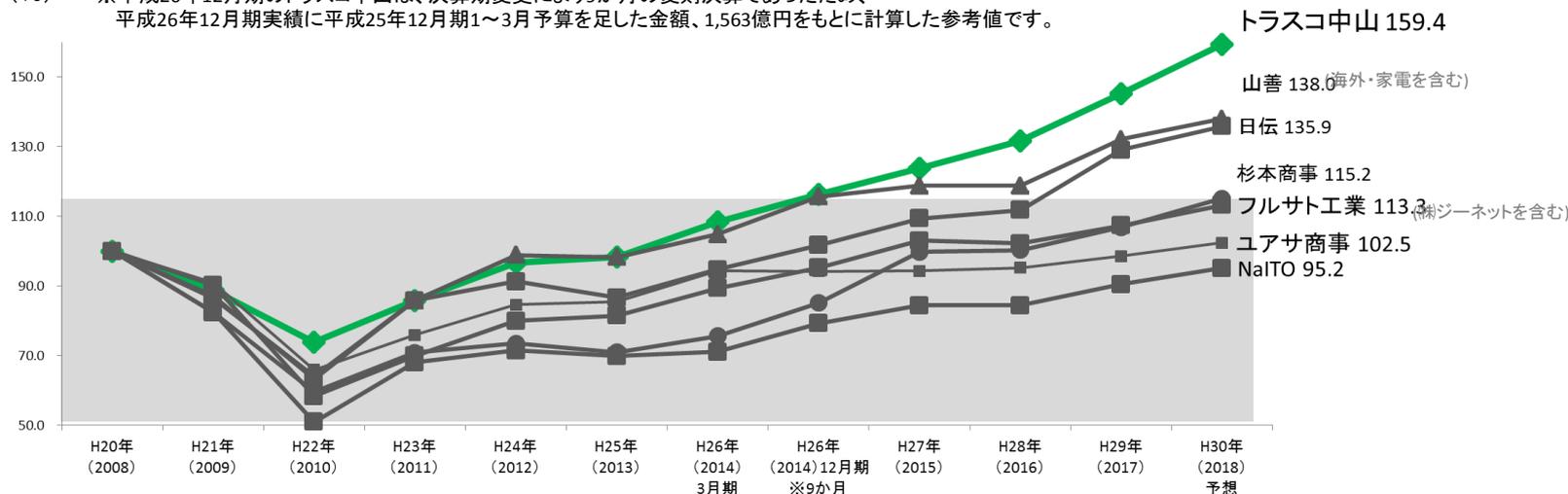
単位:百万円、%、敬称略

直販	平成30年(2018) -実績・予想-		
	決算月	売上高	前年比
(株)ミスミグループ	3月	335,200	+ 7.1
(株)MonotaRO	12月	109,553	+ 24.0

※連結決算を公表している会社は連結決算の数値を記載  
 ※2月期決算、3月期決算の企業はそれぞれ2019年2月期、2019年3月期の予想値を記載  
 ※各数値は平成31年2月6日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。

## ■同業他社との売上高指数比較

(%) ※平成26年12月期のトラスコ中山は、決算期変更により9か月の変則決算であったため、平成26年12月期実績に平成25年12月期1~3月予算を足した金額、1,563億円をもとに計算した参考値です。



※指数基準:平成20年(2008)を100とする。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。  
 ※平成30年8月2日現在公開のデータをもとに広報IR課にて算出した数値。

# 参考資料③－平成30年(2018)12月期 四半期毎の実績

## ■平成30年(2018)12月期【四半期】

単位:百万円、%

	第1四半期 (△2日)			第2四半期 (±0日)			第3四半期 (△1日)			第4四半期 (+1日)		
	実績	構成比	前年同期比									
売上高	52,926	100.0	+7.1	51,951	100.0	+11.9	51,906	100.0	+9.9	57,512	100.0	+10.5
売上総利益	11,324	21.4	+7.0	11,397	21.9	+12.4	10,553	20.3	+8.1	12,216	21.2	+12.2
販売費及び一般管理費	7,469	14.1	+13.6	8,283	15.9	+20.9	7,761	15.0	+21.3	7,612	13.2	+4.4
営業利益	3,854	7.3	△4.0	3,114	6.0	△5.4	2,792	5.4	△17.1	4,603	8.0	+27.8
営業外収支	520	1.0	+8.8	572	1.1	+2.3	576	1.1	+13.0	596	1.0	+4.3
営業外費用	475	0.9	+9.3	497	1.0	+2.9	499	1.0	+17.3	517	0.9	+9.6
経常利益	3,900	7.4	△3.9	3,189	6.1	△5.3	2,869	5.5	△16.9	4,683	8.1	+26.5
特別利益	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-
特別損失	27	0.1	-	0	0.0	-	0	0.0	-	266	0.5	+218.8
当期純利益	2,638	5.0	△4.8	2,139	4.1	△6.5	1,947	3.8	△16.0	2,997	5.2	+7.2
P/B	10,734	20.3	+4.6	10,849	20.9	+11.2	10,808	20.8	+9.1	11,203	19.5	+9.6

## ■平成30年(2018)12月期【累計】

単位:百万円、%

	第1四半期 (△2日)			第2四半期 (△2日)			第3四半期 (△3日)			通期 (△2日)		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年比
売上高	52,926	100.0	+7.1	104,877	100.0	+9.4	156,784	100.0	+9.6	214,297	100.0	+9.8
売上総利益	11,324	21.4	+7.0	22,721	21.7	+9.6	33,275	21.2	+9.1	45,491	21.2	+9.9
販売費及び一般管理費	7,469	14.1	+13.6	15,753	15.0	+17.3	23,514	15.0	+18.6	31,127	14.5	+14.8
営業利益	3,854	7.3	△4.0	6,968	6.6	△4.6	9,760	6.2	△8.6	14,364	6.7	+0.6
営業外収支	520	1.0	+8.8	1,092	1.0	+5.3	1,669	1.1	+7.8	2,266	1.1	+6.9
営業外費用	475	0.9	+9.3	972	0.9	+5.9	1,471	0.9	+9.5	1,988	0.9	+9.5
経常利益	3,900	7.4	△3.9	7,089	6.8	△4.5	9,959	6.4	△8.5	14,642	6.8	+0.4
特別利益	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-
特別損失	27	0.1	-	27	0.0	-	27	0.0	+0.0	294	0.1	+164.1
当期純利益	2,638	5.0	△4.8	4,778	4.6	△5.6	6,725	4.3	△8.9	9,722	4.5	△4.4
P/B	10,734	20.3	+4.6	21,583	20.6	+7.8	32,392	20.7	+8.3	43,596	20.3	+8.6

# 参考資料④－2019年12月期 四半期毎の予想

## ■2019年12月期【四半期】

単位：百万円、%

	第1四半期（△1日）			第2四半期（△3日）			第3四半期（±0日）			第4四半期（△1日）		
	予算	構成比	前年同期比									
売上高	57,200	100.0	+8.1	55,500	100.0	+6.8	57,700	100.0	+11.2	62,600	100.0	+8.8
売上総利益	12,260	21.4	+8.3	12,079	21.8	+6.0	11,855	20.5	+12.3	13,106	20.9	+7.3
販売費及び一般管理費	8,274	14.5	+10.8	8,615	15.5	+4.0	8,470	14.7	+9.1	8,939	14.3	+17.4
営業利益	3,985	7.0	+3.4	3,463	6.2	+11.2	3,384	5.9	+21.2	4,166	6.7	△9.5
営業外収支	562	1.0	+8.0	562	1.0	△1.7	562	1.0	△2.5	562	0.9	△5.8
営業外費用	495	0.9	+4.1	495	0.9	△0.4	495	0.9	△0.8	515	0.8	△0.4
経常利益	4,052	7.1	+3.9	3,531	6.4	+10.7	3,451	6.0	+20.3	4,214	6.7	△10.0
特別利益	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-
特別損失	0	0.0	-	0	0.0	-	30	0.1	-	0	0.0	-
当期純利益	2,755	4.8	+4.4	2,401	4.3	+12.3	2,326	4.0	+19.5	2,816	4.5	△6.0
P/B	11,500	20.1	+7.1	11,500	20.7	+6.0	11,860	20.6	+9.7	12,140	19.4	+8.4

## ■2019年12月期【累計】

単位：百万円、%

	第1四半期（△1日）			第2四半期（△4日）			第3四半期（△4日）			通期（△5日）		
	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	57,200	100.0	+8.1	112,700	100.0	+7.5	170,400	100.0	+8.7	233,000	100.0	+8.7
売上総利益	12,260	21.4	+8.3	24,339	21.6	+7.1	36,194	21.2	+8.8	49,300	21.2	+8.4
販売費及び一般管理費	8,274	14.5	+10.8	16,890	15.0	+7.2	25,360	14.9	+7.9	34,300	14.7	+10.2
営業利益	3,985	7.0	+3.4	7,448	6.6	+6.9	10,833	6.4	+11.0	15,000	6.4	+4.4
営業外収支	562	1.0	+8.0	1,125	1.0	+2.9	1,687	1.0	+1.1	2,250	1.0	△0.7
営業外費用	495	0.9	+4.1	990	0.9	+1.8	1,485	0.9	+0.9	2,000	0.9	+0.6
経常利益	4,052	7.1	+3.9	7,583	6.7	+7.0	11,035	6.5	+10.8	15,250	6.5	+4.2
特別利益	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-
特別損失	0	0.0	-	0	0.0	-	30	0.0	+7.5	30	0.0	△89.8
当期純利益	2,755	4.8	+4.4	5,157	4.6	+7.9	7,483	4.4	+11.3	10,300	4.4	+5.9
P/B	11,500	20.1	+7.1	23,000	20.4	+6.6	34,860	20.5	+7.6	47,000	20.2	+7.8

# 参考資料⑤－会社データ

## ■社員数 平成30年(2018)12月末現在

単位:人

	女	男	合計	前年同月比
役員	0	8	8	±0
執行役員	0	7	7	±0
キャリア	178	418	596	+49
エリア	258	323	581	△2
サポート	28	3	31	+1
スペシャリスト	16	19	35	±0
ロジス	76	256	332	+38
契約社員	1	25	26	+3
社員計	557	1,051	1,608	+89
パート	834	277	1,111	+62
従業員計	1,391	1,328	2,719	+151

女性社員比率34.6%/女性セールス84人/

女性キャリア比率32.0%(男性39.8%) ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

## ■平均年齢・年収

単位:歳、万円

	平均年齢			平均年収		
	女	男	全体	キャリア	エリア	全体
平成30年(2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	701
平成29年(2017)	30.7	42.7	38.6	805	696	715
平成28年(2016)	30.6	43.5	39.3	757	651	674
平成27年(2015)	30.9	43.3	39.6	727	630	660
平成26年(2014)12月期	30.5	43.1	39.4	716	612	641

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額

※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。

## ■入社者数および退職者数

※パートタイマー除く

単位:人、%

	平成26年(2014)		平成27年(2015)		平成28年(2016)		平成29年(2017)		平成30年(2018)	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数	373	907	404	945	512	959	510	1,004	557	1,051
	1,280		1,349		1,471		1,514		1,608	
入社者	48	53	38	56	70	33	59	67	63	72
	101		94		103		126		135	
退職者	23	13	8	24	20	18	18	18	20	26
	36		32		38		36		46	
離職率	5.8	1.4	1.9	2.5	3.8	1.8	3.4	1.8	3.5	2.4
	2.7		2.3		2.5		2.3		2.8	

## ■拠点数

平成30年(2018)12月末現在

本社	2か所
支店	75か所
物流センター	17か所
ストックセンター	5か所
合計	99か所

## ■倒産による回収不能金額

単位:万円

	平成26年(2014)12月期	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)
回収不能金額(万円)	0	0	35	0	4

## ■在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

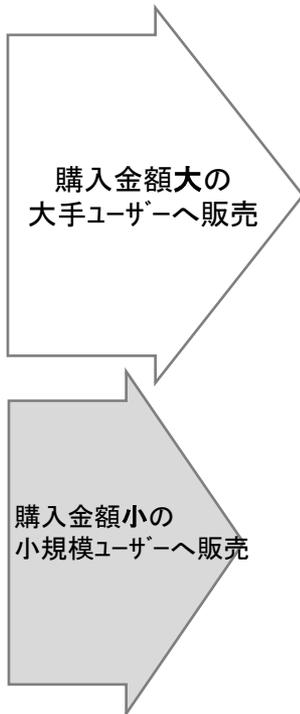
	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)
廃棄金額(百万円)	27	50	32	41	39
在庫金額(億円)	217	250	290	318	370
廃棄率(%)	0.12	0.20	0.11	0.13	0.11

# 参考資料⑥－ユーザー別販売ルート

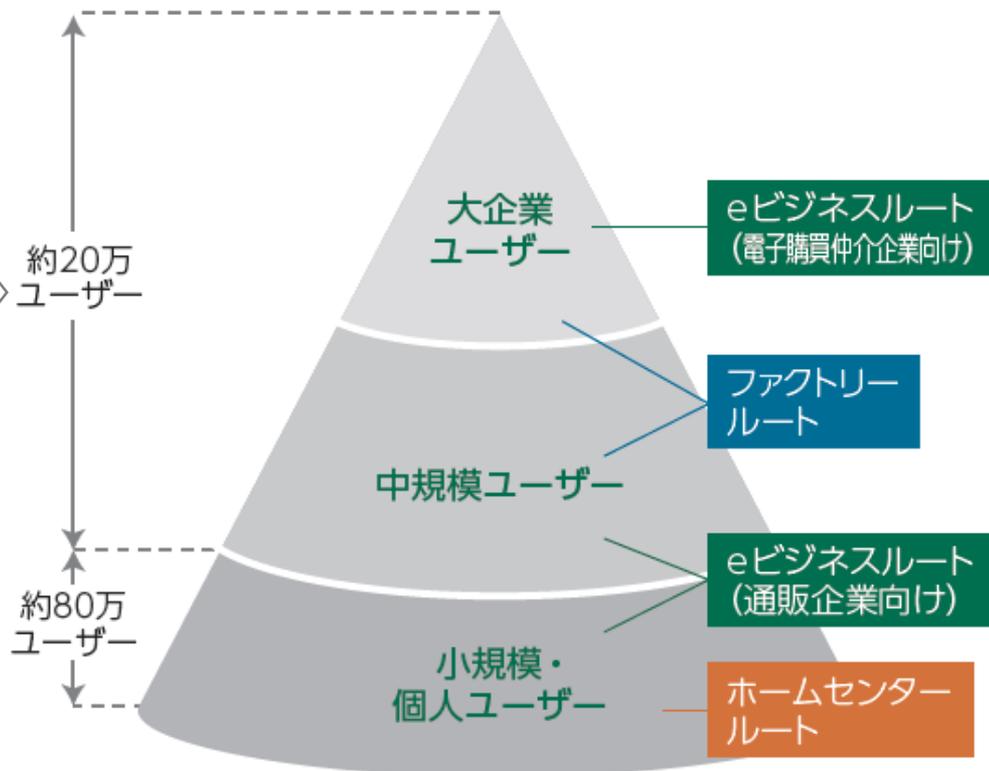
## ユーザー別販売ルート

※MROサプライとは電子購買向けの売上高のことです。  
 ※各販売ルートの売上高は当社第56期売上高を  
 ルート別に分けた金額です。

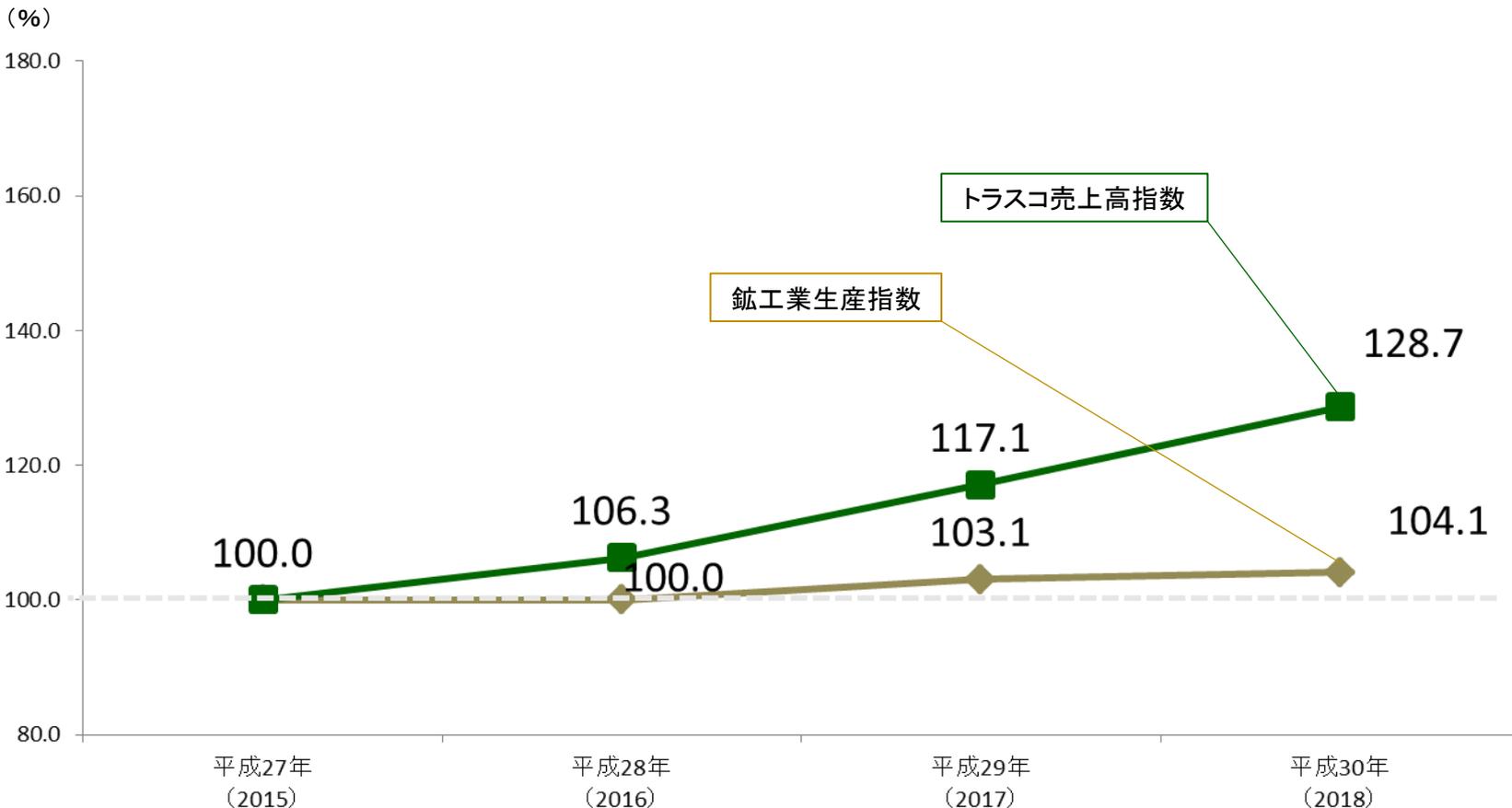
販売ルート	当社 売上高※
eビジネスルート (電子購買 仲介企業向け)	72億円 ➡
ファクトリールート	1,691億円 ➡
eビジネスルート (通販企業向け)	234億円 ⬆
ホームセンター (零細・個人)	134億円 ➡



### ●対応するユーザーイメージ



■ 当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする  
※鉱工業生産指数は平成31年1月31日に経済産業省より公表された数値

## 11/1 2018年度「ポーター賞」受賞、12/6 授賞式 参加

主催 一橋ビジネススクール 国際企業戦略専攻  
 協賛 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社  
 株式会社ピー・アンド・イー・ディレクション



2018年度受賞企業・事業は4社  
 (敬称略)  
 トラスコ中山株式会社  
 株式会社MonotaRO  
 保険の窓口グループ株式会社  
 RIZAP株式会社ボディメイク事業部

←授賞式会場の一橋講堂にて  
 左: 当社代表取締役社長 中山 哲也  
 右: 一橋ICS専攻長 一條教授

一橋ビジネススクール国際企業戦略専攻(一橋ICS)主催の2018年度「ポーター賞」を受賞いたしました。

この賞は、日本企業の競争力を向上させることを目的とした賞で、2001年7月に創設され、本年で18回目の開催となります。

製品、プロセス、経営手腕においてイノベーションを起こし、独自性がある戦略を実行し、業界において高い収益性を達成・維持している日本企業や事業部を表彰しており、賞名はハーバード大学のマイケル・E・ポーター教授に由来しています。

当社はお客様の利便性を向上するために、少量調達・即日納品ニーズにお応えするための取組みを強化してまいりました。その中で、あえて在庫を増やし続ける継続的な在庫拡充戦略や、その在庫を即納でお届けできる物流体制などが、販売価格のみに訴求されない独自の取組みとして評価され受賞に至りました。

今後も幅広く取扱商品・在庫商品を拡充させ、自社の物流システムを強化し、卸売業としてお客様により便利に使っていただける独自のサービスを提供してまいります。

## 11/17 2019年版「トラスコ オレンジブック」&各種カタログ 発刊

2019年版「トラスコ オレンジブック」は昨年より2冊多い12分冊となりました。取扱いアイテム数の多い4巻(手作業工具)と6巻(保護具・梱包用品・安全用品)を各2冊に分け、使いやすさを改善しました。

また、付属の冊子「プロツールマガジン イチオシ 2019」の表紙とスペシャルインタビューでは、TV番組「TRUSCO知られざるガリバー」でナレーションを務めていらっしゃる渡辺真理さんにご登場いただいています。

掲載メーカー数: 1,719社(+147)  
 掲載アイテム数: 約401,000(+41,200)  
 即納アイテム数: 約365,000(+35,000)  
 ページ数: 18,900ページ(+1,548)  
 即納率: 91%



2019年版トラスコ オレンジブック